

令和8年9月1日

日立理科クラブ通信

No.273



日立理科クラブ

理科室のおじさん研修会 「理科室の断捨離」・「教材開発」

8月27日(木)、仲町小学校で行われた理科室のおじさん研修会を紹介します。

瀧澤代表理事、教育委員会指導課の森戸指導主事、日立市教育研究会理科研究部長の佐川校長にも出席いただき、研修会が始まりました。

本日の研修のテーマは、学校の統合や備品の増加に対応するための「理科室の断捨離」、教科書どおりにやろうとしてもなかなかうまくいかない実験への対応です。そこで、実際に理科室で協議しようと、仲町小学校で行われました。

この日の、研修の内容は次の通りです。

①理科室の備品について

- ア 断捨離
- イ 遊んで学ぶおもちゃ教材
- ウ 備品見学

②実験・実習

- ア アサガオの受粉
- イ 水溶液（酸とアルカリ）

③3Dプリンタ製作の教材紹介

「理科室のおじさん」研修会の特色は、講師が理科室のおじさんであることです。それぞれのおじさん方が、課題解決に取り組んで、失敗したことや手応えがあったことを紹介しあい、それを共有して、こどもたち、先生方のためになろうとしています。

それぞれの発表や提案に対して、今回も参加者から質問や意見、情報提供など活発で前向きなやりとりが繰り返されていました。

まず、仲町小学校、宮田小学校、中小路小学校の3校が統合することを事例に、理科室の断捨離を話題にして協議しました。それぞれのおじさん方の日頃の苦労や工夫が紹介されましたが、結論は、理科室のおじさんから見れば必要なもの、不要なものに分けるところまではできるが、学校備品なので、最終的には学校が判断することになるだろうということです。理科室にものが増えている中で、スペースを最大限有効に活用しようとする理科室のおじさん方の、合理的な考え方が伝わってきました。

そして、断捨離と併せて、すべての学校に、「理科実験ヒヤリハット集」「理科実験ノウハウ集」「支援活動アイデア集」や理科クラブ作成の動画データ等を整理するボックスを共通して整えようとする提案がなされました。理科室のおじさんの仕事を、誰でも苦労を少なくして、という持続性を考えた提案だと思います。

実験実習では、アサガオの受粉が取り上げられました。小学校5年で扱われる内容ですが、教科書どおりにやろうとしてもうまくいかない実験の代表です。動画や実際の実験で、順調にいく方法を共有しました。

小学校6年生で学習する酸性・中性・アルカリ性に学習で、ムラサキキャベツ液で調べる実験が教科書に書かれています。ムラサキキャベツ以外に、ブルーベリー、ナスでつくった液も指示薬にして実験しました。シソでもおもしろいことが紹介されていました。

また、3Dプリンタを使うと、輪軸や腕が曲がるしくみなど、これまでなかった教材を作れることも紹介されました。データがある教材については事務局を通して依頼すれば作ってくれるそうです。

あいさつする佐川校長



熱心に協議する参加者



理科準備室の見学



全校に設置するボックス



おもちゃ教材



アサガオの実験



3Dプリンタの教材紹介



ブルーベリー指示薬

